

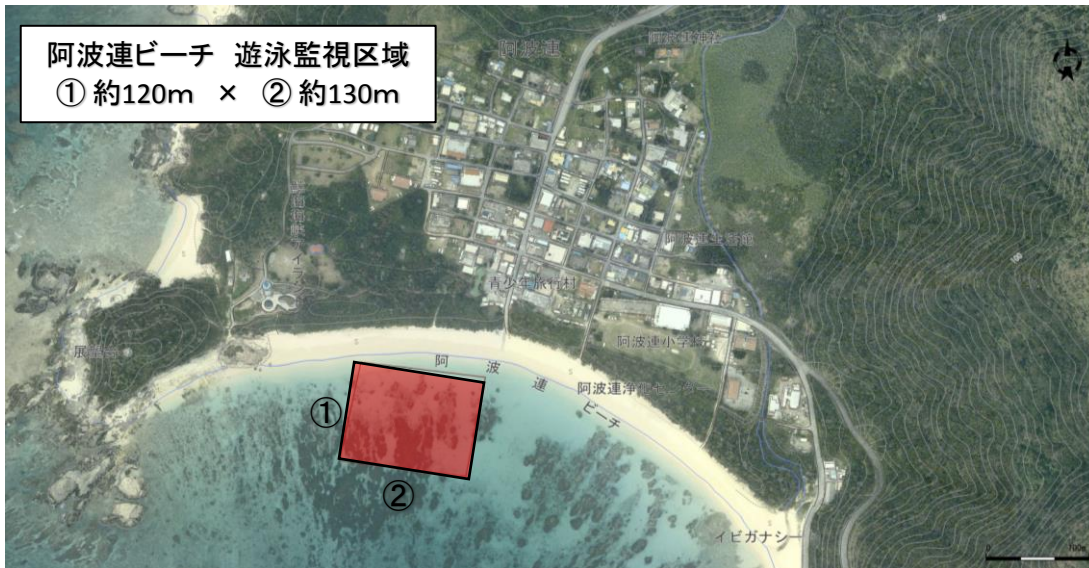
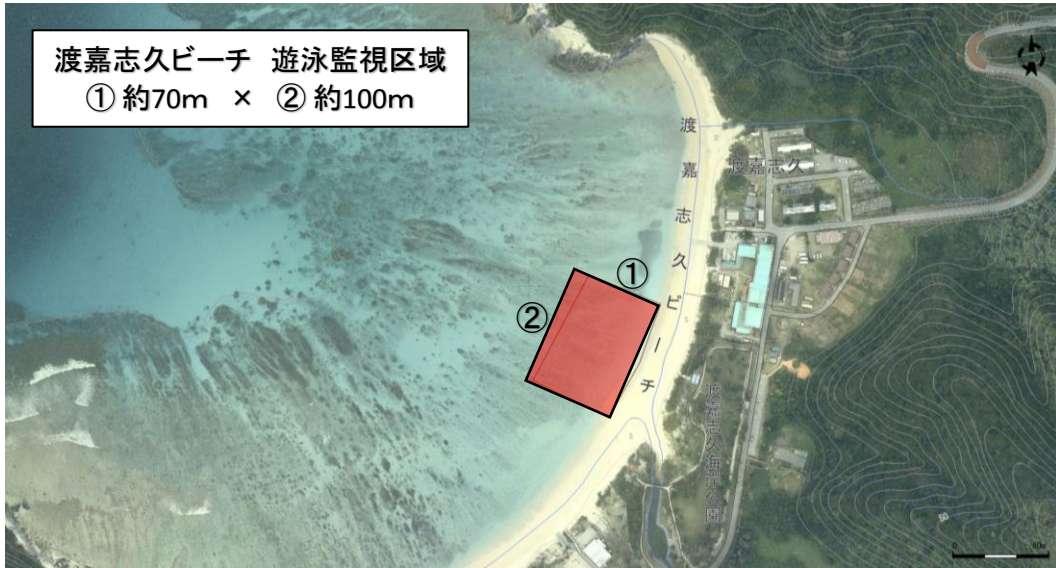
渡嘉敷村海域安全確保 委託業務仕様書

業務にあたっては、注意事項等を遵守し、ビーチ利用者の安全を確保するとともに、事故が発生しないように配慮すること。

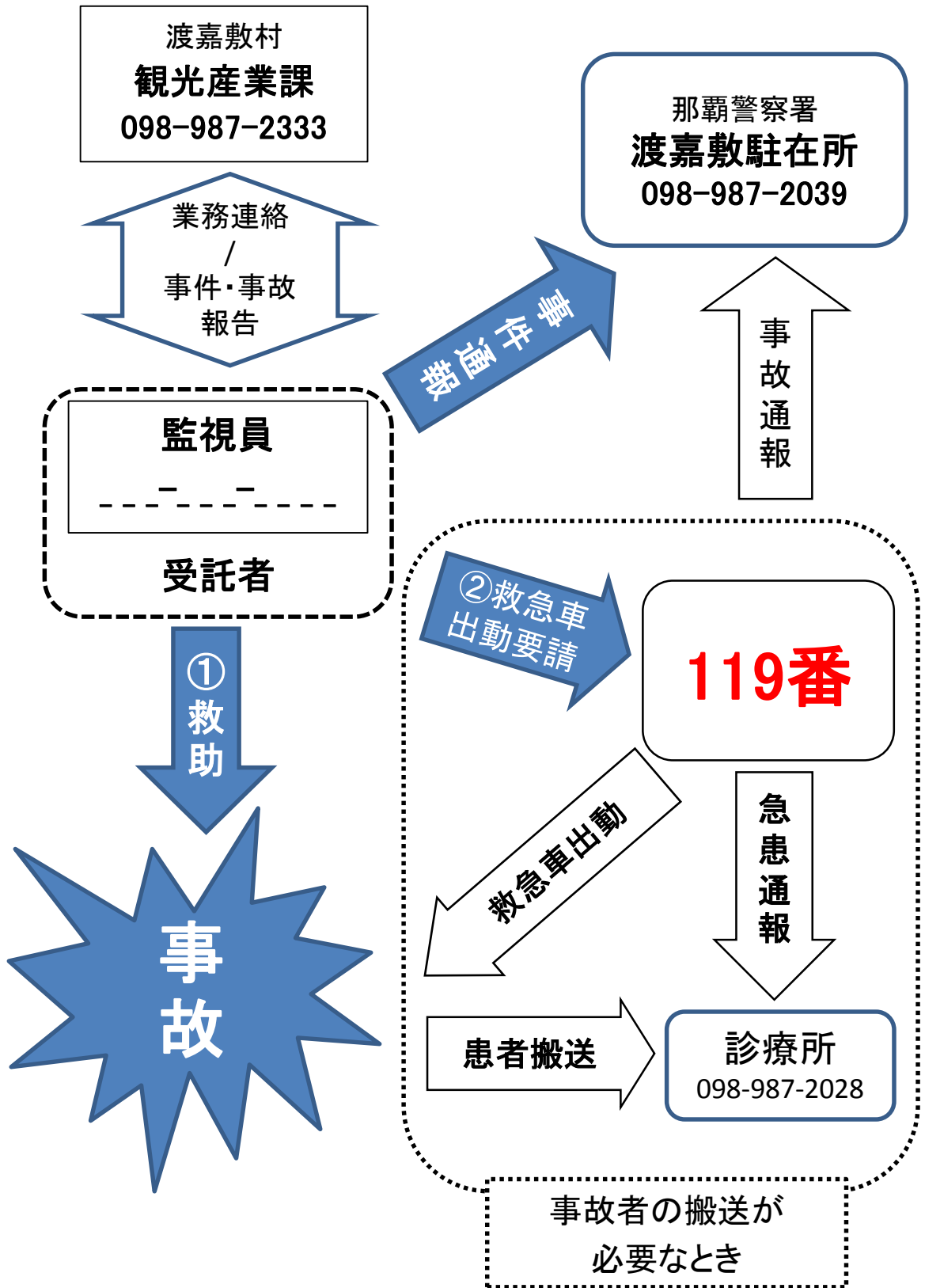
1. 区域・・・別紙①「ビーチ遊泳監視区域」のとおりとする。
2. 業務体制・・・指定する資格のある監視員2～3名を各ビーチに常駐させ、監視業務に当たらせることとする。別紙②「ビーチ監視体制」に従う。
3. 業務内容・・・別紙③「基本業務内容」に沿って行う。
4. 業務の手順・・・別紙④「業務の流れ」を基本とする。
5. 事故発生時の対応
 - (1) 直ちに救助にあたるとともに別紙②「ビーチ遊泳監視体制」に従い対応すること。
 - (2) 事故者を救助後、状況に応じた救急処置を医師又は急患搬送隊に引き渡すまで続けること。
 - (2) 事故処理後、別紙⑤「事故報告書」を作成し、提出すること。
6. 監視員の心得
 - (1) 監視等業務の実施にあたっては、人命尊重を第一とすること。
 - (2) 利用者に対して、誠実、親切、ていねいに対応すること。
 - (3) 自己の体調を整え、随時海域内に入ることが可能な状態にしておくこと。
 - (4) 救急用資機材(AED、食酢、救急箱、担架、メガホンなど)を常備し、救急活動が速やかに行えるようにすること。
 - (5) 海域及び海岸利用者に迷惑な行為及び、危険が及ぶ行為については注意し、警察への通報など適切に対応すること。
 - (6) 動力船の航行区域と遊泳区域との境界については特に注意を払い監視すること。

以上

別紙① ビーチ遊泳監視区域



ビーチ監視体制



基本業務内容

以下は、基本業務であり、状況に応じて臨機応変に対応すること。

1. 基本的事項

- (1) 監視員 2～3 名以上配置し、迅速・瞬時に救命救助できる体制を確保すること。
- (2) 監視員は、自己の体調管理を万全にし、適した服装で業務にあたり、AED の使用方法を熟知するとともに、ホイッスル等を携行すること。
- (3) 業務にあたっては、利用者に対して、誠実、親切、ていねいに対応すること。
- (4) 救助機材、救急用具(AED、食酢、救急箱、担架、メガホン)を常備し、救急活動が速やかに行えるようにすること。
- (5) 遊泳区域を示す標識ブイ等の保全・管理に留意すること。
- (6) 海域及び海岸利用者に迷惑な行為及び、危険が及ぶ行為については注意を呼びかけ 場合によっては、警察への通報など適切に対応すること。
- (7) 海域及び海岸利用者が事故にあわないよう、全体に注意を向けること。
- (8) 「監視業務日誌」に、必要事項を記録・報告すること。
- (9) ラジオや携帯電話等を常備し、常に最新の気象情報等を得るよう務めること。
- (10) 業務開始時及び終了時には、海域、海岸、標識、設備、備品等を点検し、不備があるときは適宜対応すること。
- (11) クラゲ等危険生物による刺傷があった場合、遊泳者に注意を呼びかけるとともに、現場海域を調査し、危険生物を除去するなど適宜対応する。

2. 事故防止のための業務

- (1) 次のようなことが予見された場合は、速やかに事故防止の具体措置をとること。
 - ・ 落雷、津波、大雨、強風、海水汚染、有害生物など危険な事象が発生したとき
又は、発生が予想される場合は、迅速かつ安全に海水浴客を誘導すること
 - ・ 波浪が高いときは、できるだけ入水を控えるよう呼びかけ、入水する場合は浮力体を身につけるよう呼びかけること
 - ・ 入水者に対して、遊泳が可能かどうかについて自ら健康管理を行うこと、幼児等の健康管理については保護者が充分行うよう注意を呼びかけること
 - ・ ライフジャケットなどの浮力を確保するよう呼びかけること。
 - ・ 飲酒した人は、入水を控えるよう呼びかける
 - ・ 監視区域内で遊泳するよう呼びかけること（特に航路での遊泳は注意する）
 - ・ 離岸流や風で、遊泳者が沖へ流されないよう呼びかける
 - ・ 船舶、水上バイク等の航行が、遊泳者に危険を及ぼさないよう配慮を求めること
 - ・ 幼児の遊泳には、保護者がつくよう呼びかけること

- ・ 遊泳区域や海岸で、鋳、水中銃等の携帯や使用をしないよう呼びかける
- ・ 海岸への車、オートバイ等車輛の乗り入れないように注意する
- ・ 混雑時に、他の利用者に迷惑あるいは危険を及ぼす行為、海岸や水域の環境に悪影響を与える行為をしないよう呼びかけること
 - 例) 遊泳者の近くで釣りやキャッチボール等しないこと
 - 日焼け用オイル・日焼け用ローション等は拭き取ってから入水すること
 - ゴミなどは持ち帰ること
 - サンゴを踏み荒らさないこと
- ・ 犬などは、リード（手綱）を使用するよう呼びかけ、リードに関わらず遊泳区域内の犬の入水をしないよう注意する
- ・ 海岸での直火の使用をしないよう呼びかける
- ・ 遊泳区域を示すブイの移動・破壊につながる行為をさせないこと

3. 海岸放送業務

- (1) 事故防止のため、別紙「遊泳監視業務放送マニュアル」に従い放送を適時実施すること。

4. 救助活動

- (1) 事故が発生した場合、直ちに救助にあたること
 - ※緊急時でも安全を確認し、二次災害につながらないように注意！
- (2) 事故者の状況に応じた救急処置を、医師又は救急車に引き渡すまで続けること
 - ※ハブクラゲの触手には「酢」が有効
 - ※カツオノエボシの触手は海水で流す（酢は絶対に使わない）
- (3) 急患搬送については、「ビーチ遊泳監視体制」に基づき対応すること

5. 業務報告

- (1) 海水浴客および海岸関係者からの意見、苦情、報告などを受けた際は些細なことでも対応し、監視業務日誌に記録すること。

6. 資機材保守、清掃業務

- (1) 監視資機材、救助機材、備品等は丁寧に扱い、毎日清掃・手入れをおこなうこと
- (2) 漂着ゴミなどが発生した場合は、収集し処理する。大きな漂着ゴミなどは集積し、役場へ回収依頼すること

以上

業務の流れ

●始業前準備 08 : 30までに業務服に着替えを済ませて、監視台設営

1. 服 装：水着、パトキャップ等適した服装
機材準備：レスキューボード、レスキューチューブ
メガホン、ホイッスル、双眼鏡ほか必要な機材の準備
医薬品等：救急箱、食酢、担架の準備
その他：遊泳監視業務日誌（筆記用具）
2. 遊泳区域標識ブイ等の点検準備、ビーチの掃除。
3. 監視業務始業前に、準備運動を含めたトレーニングをすること。
海の状況の確認（入水し、水底の様子の確認、水温、気温の測定）
4. 開始前ミーティング、注意事項の伝達
5. 役場への報告（現場で判断できない異常事項等の報告。）

●業務開始 09 : 00 遊泳監視業務開始の放送

1. ビーチの観察（危険物、遊泳客の概況確認／放置ゴミなどの確認）
2. 事故の未然防止のための監視活動の徹底、危険につながる状況の注意
3. 熱中症や過度の日焼けなど、安全への注意を促すため随時放送
4. 海浜状況の定時記入（下書き用ノートへ記載すること）
9 : 00、12 : 00、15 : 00、18 : 00
5. 昼食やトイレなどで、監視員不在の状況にしない
6. 基本業務内容を基本とする

※業務終了前10分前のお知らせ放送

●業務終了 18 : 00 遊泳監視業務終了放送

1. 最終パトロールによる安全確認
2. ビーチクリーン
 - ・ 器材片付け、監視所の掃除
 - ・ 終了後ミーティングと、注意事項、翌日の連絡事項等
 - ・ 業務報告書の清書
 - ・ 状況をみながらトレーニング

以上

別紙⑤

事故報告書

年 月 日

所 属 : _____

報告者 : _____ 印

下記のとおり報告します。

日時	年 月 日 時 分ごろ
場所	渡嘉敷村 阿波連ビーチ 渡嘉志久ビーチ
氏名	性別 男 ・ 女 年齢 歳
発生状況等	

※参考となる資料（写真・位置図等）添付

遊泳監視業務放送マニュアル

■ 定時放送

(9 : 0 0 1 1 : 0 0 1 2 : 0 0 1 3 : 0 0 1 5 : 0 0 1 6 : 3 0)

阿波連（渡嘉志久）ビーチをご利用の皆様、おはようございます（こんにちは）。
監視員の〇〇です。

皆様に、楽しい時間をお過ごしいただくため、お願いがございます。

- 1) 遊泳は、黄色いブイの内側「遊泳監視区域内」でお願いします。
- 2) 海に入る前には、必ず準備体操をしましょう。
- 3) 食事のすぐあと、疲れている時は無理をせず、十分に休息をお取り下さい。
- 4) お酒を飲まれている方は、危険ですので、海に入らないようお願いします。
- 5) 津波や雷などの災害が予想される時は、放送に従い避難をお願いします。
- 6) 犬など、ペットの監視区域内での入水は、ご遠慮下さい。
- 7) 海岸には、ゴミ箱は設置しておりません。ゴミは、「宿泊先」か「渡嘉敷港 旅客待合所」までお持ち帰りをお願いします。
- 8) 携帯電話や貴重品など、カラスによる持ち去りにご注意下さい。
- 9) 万が一事故が発生したときや、クラゲなどに刺されるなど、ケガをされたときは、監視員にお知らせください。
- 10) 本日の、監視・救護業務は、午前9時から午後6時までとなっております。
それでは皆様、ケラマブブルーの美しい海で、楽しい時間をお過ごしください。

※人出が多い時は、状況を見て必要な事項を、頻繁に放送すること。

※必要に応じて注意の放送を追加

■ 船舶案内放送 （船の時間に変更がある場合は、その案内を適時に行う。）

時刻は、午後2時を回りました。

この後の、那覇への村営定期船のご案内をいたします。

「フェリーとかしき」は、午後4時、

「マリンライナーとかしき」は、午後5時30分に渡嘉敷港を出港いたします。

ご利用の方は、時間に遅れないようご注意ください。

なお、お帰りの際は、お忘れ物のないようご注意ください！

■ 終業案内放送 （状況を見て、適時行う。）

時刻は、午後5時を回りました。

本日の、監視業務及び救護業務は、午後6時に終了させていただきます。

以降は、必要に応じて放送する

注意、追加の放送

■ 幼児の遊泳

お子様連れの方は、お子様から目を離さないようご注意ください。

■ 日焼けや熱中症

日差しが強くなっておりますので、日焼けや熱中症にお気をつけ下さい。

■ 潮流

離岸流など、潮の流れにご注意下さい。

■ 強風

現在、風が強くなっております。

浮き輪や、シート等が海に流れ出ても、慌てて追いかけないようご注意ください。

シートやお手荷物などは、飛ばされないようご注意ください。

ビーチパラソルをご使用中の方は、離れられる際は、ご面倒でもパラソルを閉じて頂きますようお願いいたします。

■ 高波

本日は、波が高くなっております。突然の高波も予想されますので、十分にご注意ください。

また、お子様の遊泳には、保護者同伴でお願いいたします。

■ サーフボード・ボディボード

遊泳区域内で、サーフボードやボディボードを浮力体として利用される場合は、他の利用者に迷惑にならないようご注意ください。

サーフィンやボディボードをされる場合は、遊泳者との接触を避けるため遊泳監視区域外へ移動してください。

■ 遊泳監視区域外遊泳者

遊泳監視区域外で、遊泳されている方をお願いいたします。

遊泳監視区域外は、船の航行や、マリンスポーツをされる方が居るため、大変危険ですので、黄色のブイの内側へ、移動していただきますようお願い致します。

■ 満潮時注意 (大潮でない時は、一行目を飛ばす。)

本日、大潮となっております。(満潮時刻は、〇時です。)

これから、潮があげて参りますので、深みにご注意ください。

手荷物などは、波打ち際から十分に離して置いてください。

- **干潮時注意** （大潮でない時は、一行目を飛ばす。）
本日の潮回りは、大潮となっております。（干潮時刻は、○ 時です。）
潮が引いているため、サンゴに足がつく場合がありますので、接触してけがをしないよう気をつけて下さい。また、サンゴの上に立たないようにお願いします。
海に入る際は、足もとに十分ご注意ください。

- **迷子を保護している場合（逆迷子）**
迷子のお知らせをいたします。
〇〇色の水着を着た、〇〇ちゃん、〇才を監視台にてお預かりしております。 お心当たりのある方は、監視台までお越しください。

- **子供（迷子）を探す場合**
迷子のお尋ねをいたします。
〇〇色の水着を着た、〇才になる男の子（女の子）、〇〇ちゃんが迷子となっております。
お心当たりのある方は、監視員までお知らせください。

- **子供（迷子）が見つかったとき**
只今（先ほど）の迷子は、無事保護されました。ご協力ありがとうございました。

天候の放送

■ 雷が鳴った場合

只今、近くで雷の音を確認しました、遊泳中の方は海から上がり、海岸にいる方も避難して下さい。

雷が遠ざかるまで、安全な場所へ避難してください。

■ 雷注意報が発令された場合

本日、○ 時 ○分に、雷注意報が発令されました。

今後、雷の音と監視員からの追加情報にご注意ください。

遊泳される場合は、沖へは行かないようにお願いします。

■ その他の注意報・警報が発令された場合

本日、○ 時 ○分に、○○注意報（警報）が発令されました。

今後の情報にご注意ください。

地震・津波の放送

■ 弱い地震（避難を促す）

只今、地震の揺れを感じました、遊泳中の方は海から上がり、追加情報をお待ちください。

■ 津波の心配がない場合

只今の地震による津波の心配はありません。
念のため、沖合へは行かないようお願い致します。

■ 津波注意報発令

只今、津波注意報が発表されました、地震による津波の可能性があります。
念のため、海から上がり、避難できるようにして下さい。

■ 津波警報発令

只今、津波警報が発表されました、地震による津波の可能性があります。
遊泳中の方は海から上がり、高台へ避難して下さい。
慌てずに行動して下さい。

※繰り返し呼びかけること

※放送設備が使えない場合は、ホイッスル及び・大声で呼びかけること

※避難状況を確認し、監視員も避難しながら、高台へ誘導すること

■ 強い地震（巨大地震）

只今、大きな地震の揺れを感じました、遊泳中の方は、すぐに海から上がり高台へ避難してください。

海岸にいる方も、すぐに高台へ避難して下さい。

慌てずに行動して下さい。

※繰り返し呼びかける

※放送設備が使えない場合は、ホイッスル及び・大声で呼びかける。

※避難状況を確認し、監視員も避難しながら、高台へ避難誘導。